

令和6年

業種別労働災害発生状況

令和6年12月末現在

旭川労働基準監督署

区分 業種別	令和6年			前年同期			対前年		業種割合 (%)	令和5年 (確定)			
	死亡	休業4日 以上	合計	死亡	休業4日 以上	合計	増減数	増減率		死亡	休業4日 以上	合計	
全産業合計	3	619	622	2	624	626	-4	-0.6	100.0	2	701	703	
製造業	3	76	79	1	84	85	-6	-7.1	12.7	1	88	89	
内 訳	食料品	1	20	21		34	34	-13	-38.2	3.4		38	38
	木材・家具装備品		19	19		18	18	1	5.6	3.1		18	18
	紙・パルプ												
	窯業・土石		4	4		6	6	-2	-33.3	0.6		6	6
	金属・機械	1	12	13		12	12	1	8.3	2.1		12	12
	その他	1	21	22	1	14	15	7	46.7	3.5	1	14	15
土石採取業		4	4		2	2	2	100.0	0.6		2	2	
建設業		57	57		65	65	-8	-12.3	9.2		71	71	
内 訳	土木工事業		17	17		27	27	-10	-37.0	2.7		29	29
	建築工事業		32	32		24	24	8	33.3	5.1		26	26
	木造建築業		5	5		9	9	-4	-44.4	0.8		9	9
	その他		3	3		5	5	-2	-40.0	0.5		7	7
道路貨物運送業		62	62		51	51	11	21.6	10.0		58	58	
その他の運輸業		13	13		12	12	1	8.3	2.1		15	15	
陸上貨物取扱業		1	1		1	1		±0	0.2		1	1	
林業		8	8	1	4	5	3	60.0	1.3	1	4	5	
卸・小売業		73	73		71	71	2	2.8	11.7		80	80	
清掃業		39	39		34	34	5	14.7	6.3		34	34	
その他の事業		286	286		300	300	-14	-4.7	46.0		348	348	
内 訳	農業・畜産業		28	28		22	22	6	27.3	4.5		24	24
	社会福祉施設		83	83		122	122	-39	-32.0	13.3		149	149
	その他		175	175		156	156	19	12.2	28.1		175	175

本統計は、労働者死傷病報告書（休業4日以上）を集計したもので、死亡欄の（ ）内は交通事故で内数です。また、管轄は旭川市、上川町、愛別町、比布町、当麻町、鷹栖町、東神楽町、東川町、美瑛町、幌加内町、富良野市、上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村の2市12町1村です。

<今月のコメント>

当署で把握している限り、**建設業で初めて3年連続(令和4年、令和5年、令和6年)で死亡災害ゼロを達成することができました、しかしながら、残念ながら12月に9ヶ月ぶりに製造業で2件の死亡災害が発生しました。**

各作業に当たっては、危険性等について調査を実施し、危険性が高い作業を優先に設備改善にかかる低減措置を講じる等、リスクアセスメントの取組を実施し、令和7年は死亡災害ゼロを目指してください。

・北海道冬季ゼロ災害運動(12/1~3/31)

冬季の北海道では、路面凍結による転倒災害、自動車のスリップや吹雪等の視界不良による交通事故、屋根からの雪下ろし作業に伴う墜落災害、重機除雪作業時の接触災害、屋内での内燃式発電機等の使用による一酸化炭素中毒等の冬季特有の労働災害が多く発生しております。労使が協力して「北海道冬季ゼロ災害運動」に取り組みましょう。

令和6年業種別労働災害発生状況の確定値は、令和7年4月上旬を予定しております。

<死亡災害ゼロ継続日数>

(令和6年12月末現在)

- ・製造業 0か月
- ・建設業 3年3か月
- ・運送業 3年5か月
- ・林業 1年5か月
- ・農業 2年7か月

